

**県立高等技術専門校の整備のあり方の検討に係る
宮城県職業能力開発審議会（第4回目）議事概要
※令和2年度第1回宮城県職業能力開発審議会として開催【書面開催】**

日時：令和2年4月24日（金）【答申案について委員に意見照会】

委員：田邊会長，大泉委員，大久委員，齋藤委員，小野委員，熊谷委員，後藤委員，井上委員，
谷垣委員，野口委員，渡辺委員，大窪特別委員（全委員に照会・回答）

概要：

前回会議で出された意見を反映した答申案について，各委員に意見照会を行った。

委員から回答のあった主な意見及び意見に対する対応は以下のとおり。

- ・就職率等の数値の記載や一部文言の修正等の意見があり，修正した。
- ・入校者が減少し，定員に見合う職業訓練機能が十分に果たされていない。人口減少，財政負担も踏まえ，建物，設備を集約し，新しいものに変えることによって，新時代に向けた基盤整備・イメージ向上が図られる。施設集約は，学生だけでなく，宮城県さらには地域のためにもなる等の意見があり，施設を集約する必要性について，人口減少への対応，財源の有効活用，時代に即した施設・設備の整備，訓練内容や訓練環境の充実等を追記した。
- ・感染症対策としてオンライン訓練の必要性を痛感した。また，高等技術専門校の立地の課題解決にも資するので，整備の基本方針に盛り込むべきとの意見があり，修正した。
- ・障害者等に訓練機会を提供するほか，必要な配慮を検討すべきとの意見があり，修正した。

修正した最終答申案を次回の会議で審議することを確認した。